

平成22年度日本小児外科学会  
第6回定例理事会議事録

日 時：平成23年5月13日（金）11：00～17：00

場 所：日本外科学会会議室

出席者：岩中 督（理事長）、田口智章（副理事長）、土岐 彰（理事・会長）、上野 滋（理事・副会長）、橋本 俊、濱田吉則、葺澤融司、前田貢作（以上理事）、伊川廣道、金子道夫、林 富（以上監事）、吉澤穰治（財務会計委員長）、越永従道（財務会計副委員長）、小室広昭（庶務委員長）、金森 豊（庶務副委員長）、鈴木淳一（庶務委員）、村上 聡、堀口裕輔（以上学会支援機構）

陪席者：副島 剛、番匠谷修行（以上NTT-PCコミュニケーションズ）

議 事：

1. 第6回定例理事会の議事録署名人は、田口智章副理事長、橋本 俊理事とした。
2. 平成22年度第5回定例理事会議事録が承認された。
3. 報告事項
  - 1) 総合調整委員会報告(田口副理事長)

田口副理事長より、以下の報告、提案があり了承された。

    - (1) 平成21年度および平成22年度の審議事項の総括として、以下項目が説明された。

平成21年度・・・小児外科専門医の更新要件、申請要件・倫理セミナーの義務化  
平成22年度・・・小児がん外科専門医・日本小児外科学会認定登録医・指導医の更新条件・教育関連施設のありかた
    - (2) 平成23年度の評議員会で、下記の件につき、提案をする。
      - ①外科認定登録医についての内容説明
      - ②小児外科認定登録医を作る予定
      - ③上記を基に指導医の更新要件を改訂する予定
  - 2) 理事長報告

岩中理事長より以下の報告があり、了承された。

    - (1) 日本製薬工業協会からの寄贈本「製薬協ニューズレターNo.142」を受領した。
    - (2) 日本麻酔科学会寄贈本「Journal of Anesthesia Vol.24No.5～Vol.25No.1」を受領した。
    - (3) 日本医師会からの寄贈本「JMAJ Vol.54No.1～」を受領した。
    - (4) 厚生労働省医薬食品局安全対策課からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No.277～278」を受領した。
    - (5) 日本医学会からの冊子「医学研究の COI マネージメントに関するガイドライン」を受領した。

- (6) 日本外科学会からの寄贈本「SURGERY TODAY Vol.41No.3～Vol.41No.5」を受領した。
- (7) 日本小児がん学会からの資料「小児がん全数把握登録事業における各施設別の疾患別登録数」を受領した。
- (8) 日本専門医制評価・認定機構からの冊子「ニューズレター第6号」を受領した。
- (9) 日本外科学会からの通信文「日本外科学会外科専門医認定試験日程のお知らせ」を受領した。
- (10) 難病のこども支援全国ネットワークからの冊子「がんばれ！臨時増刊号、Vol.125～Vol.126」を受領した。
- (11) 日本医学会からの通信文「平成22年度日本医学会新規加盟学会報告」を受領した。
- (12) 日本医学会からのDVD「第139回日本医学会シポジウム心筋梗塞」を受領した。
- (13) 医学中央雑誌刊行会からの寄贈本「収載誌目録2011」を受領した。
- (14) 科学技術振興機構からのリーフレット「科学技術情報総合ポータルサイト案内」を受領した。
- (15) 日本救急医学会からのお知らせ「代表理事退任・就任挨拶状」を受領した。
- (16) 日本製薬工業協会からの冊子「Capsule No.89」を受領した。
- (17) 日本学術振興会からの通信文「第8回日本学術振興会賞候補者の推薦について」を受領した。
- (18) ファイザーヘルスリサーチ振興財団からの冊子「ヘルスリサーチニュース Vol.57」を受領した。
- (19) 日本医療安全調査機構からの冊子「診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業」を受領した。
- (20) 外科関連学会協議会からの通信文「症例報告を含む医学論文及び学会研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針」を受領した。
- (21) 日本医学会からの冊子「日本医学会だより No.45」を受領した。
- (22) 日本医師会から通信文「平成23年度日本医師会医学賞・日本医師会医学研究奨励賞候補の推薦について」を受領した。
- (23) 日本医療機器産業連合会からの冊子「医機連ニュース第73号」を受領した。
- (24) 厚生労働省医薬品審査管理課からの通信文「医療用医薬品の有効成分のうち一般用医薬品品としての利用も可能と考えられる候補成分についてのお願い」を受領した。
- (25) 神奈川県医師会より寄贈本「神奈川医学会雑誌 Vol.38No.1」を受領した。
- (26) 日本医療機能評価機構より冊子「2011年ニューズ・レターVol.1」を受領した。
- (27) 第78回医学会定例評議員会報告を受領し、報告された。
- (28) 日本専門医制評価認定機構 社員総会報告「平成22年度第2回社員総会資料」「平成23年度第1回社員総会資料」を受領し、報告された。

### 3) 震災対応について（岩中理事長、上野理事）

岩中理事長より、日本学術会議幹事会声明「東北・関東大震災とその後の原子力発電所事故」に関する説明があり、本会としての対応につき、上野理事から以下の報告がされた。

1. 見舞文のHP掲載
2. 日本小児救急医学会と連携し活動するため日本小児外科学会執行部へ日本小児救急医学会 mailing list (ML) を配信
3. 日本小児救急医学会からの支援要請により、4月3日から近畿大学医学部奈良病院小児外科から一人当たり5日間の派遣期間で計4名の医師が医療支援に参加
4. 日本医師会からの日本医師会災害医療チーム (JMAT) 派遣依頼への対応として、日本小児外科学会の会員に対し参加依頼を周知
5. 日本学術会議からの震災への対応に関する意見募集について小児救急検討委員会で意見書を作成し提出
6. 厚生労働省医政局指導課より日本小児外科学会における転院希望患者の受入窓口の情報提供を求められたことに対し、認定施設・教育関連施設に対し転院希望患者の受け入れ可能施設問い合わせを行った上で、その結果を厚生労働省厚生労働省医政局に報告するとともに、学会HP上に40施設の「転院希望患者の受け入れ窓口情報」を掲載

#### 4) 専門医制度について (岩中理事長)

岩中理事長より、小児外科専門医を有する者の中で、外科専門医および日本外科学会認定医の双方を有していない者が5名おり、該当者について、日本外科学会へ特例措置として外科認定登録医資格取得の承認を依頼し、承諾された旨報告された。

また、小児外科専門医を有するものの中で、外科認定登録医を取得していない者へは、事務局より、外科認定登録医取得を促す案内を送付することとなった。

#### 4. 審議事項

##### 1) 第48回学術集会について (土岐会長)

土岐会長より、震災の影響に伴い節電が義務化される予定に対して、会期中の会場施設の電力削減案が提案され、検討の結果、予定通り開催されることが承認された。

なお、節電に伴うクールビズとして、第48回学術集会ポロシャツを制作し、販売収益を義援金として被災地へ送る予定であることが報告された。

##### 2) 第49回学術集会について (上野副会長)

上野副会長より、資料に基き第1次会告案が提案され、了承された。

開催時期：2012年5月14日(月)～16日(水)

開催場所：パシフィコ横浜アネックスホールおよびワークピア横浜

##### 3) 第26回秋季シンポジウムについて (岩中理事長)

大浜会長の代理として岩中理事長より以下の通り報告された。

会期：2010年11月20日(土)

会場：ワークピア横浜

会長：大浜 用克（神奈川県立こども医療センター）

決算報告については、PSJM2010 と合算したのではなく、秋季シンポジウムだけのものを提出するよう依頼することとなった。

#### 4) 各種委員会報告

##### a. 庶務委員会（小室庶務委員長）

小室庶務委員長より報告・提案があり、以下のように了承された。

###### (1) 会員動向について

平成 23 年 3 月末現在の会員数は、評議員を除く正会員 1,881 名（うち海外 6 名）、評議員 304 名、名誉会員 52 名（うち海外 9 名）、特別会員 58 名（うち海外 1 名）の合計 2,295 名である。

###### (2) 第 20 回評議員選挙結果について

3 月 10 日（木）に第 3 回選挙管理委員会を開催し、選挙管理委員会立ち会いのもと、開票を行った。

有権者数 1,932 名、投票総数 1,660 票（内、期日遅れ 3 票）、開票総数 1,657 票（内、二重投票 6 票および不在の背番号 4 票は無効）、有功投票数 1,647 票となり、開票結果は当選者 288 名、落選者 45 名となった。

なお、2 通の二重投票があり、その結果評議員候補者が 3 名落選した。この件に関し、選挙管理委員長、事務局担当者、当該会員に対して理事長より厳重注意がなされた。

また、当選とならなかった葦澤融司 会員（杏林大学）について、現在理事として取り組んでいただいている各種案件の継続性を考慮し、委嘱評議員とすることが審議され、承認された。

##### b. 財務会計委員会（吉澤委員長）

吉澤委員長より報告・提案があり、以下のように了承された。

###### (1) 平成 22 年度決算（案）について

資料に基づき、平成 22 年度決算（案）が報告された。

###### (2) 平成 23 年度予算（案）について

資料に基づき、平成 23 年度予算（案）が提案され、承認された。

###### (3) 未収金について

現時点での未収金（著者負担金・専門医・指導医審査料登録料・年次報告書審査料）について、資料に基き、報告された。

なお、未収金の該当者については、平成 23 年度評議員会にてスライド映写することが提案され、了承された。

###### (4) 旅費規程について

現在の旅費規程につき、改定最終案を報告され、第 48 回学術集会以降に適用することとなった。

c. 機関誌委員会（上野担当理事）

上野担当理事より報告があり、以下了承された。

(1) 機関誌発刊状況

第 47 巻第 2 号まで発行されており、また、2010 年度の投稿内訳につき、資料に基づき、報告された。

(2) 第 46 巻優秀論文推薦について

以下 2 編とすることが報告された。

・原著：

福本弘二、漆原直人、福澤宏明、杉山彰英、長江秀樹、渡辺健太郎、光永眞貴、赤澤聡、長谷川史郎：皮弁形成による喉頭気管分離術の新しい術式：腕頭動脈瘻の予防を目指して．第 46 巻 6 号、930－934

・症例報告：

望月響子、大畠雅之、小坂太一郎、徳永隆幸、土居美智子、江口晋、兼松隆之：GrossA 型 long gap 食道閉鎖に modified Foker 法による体外延長法が奏功した 1 例．第 46 巻 7 号、1178－1182

(3) 学会誌発行方法の変更（電子ジャーナル化）について

電子ジャーナル化については、今すぐではなく、2 年後辺りを目途に変更を進めていく方針が提案され、承認された。その前提で、機関誌委員会および財務会計委員会の両委員会にて、今後の委託先会社の選定のための入札を行い、委託先を決定することとされた。

d. 国際広報委員会（岩中理事長）

岩中理事長より、資料に基づいて報告・提案あり、了承された。

(1) 震災に関して HP に情報掲載

今回の震災に際して至急でのせなければならない案件については理事会メールの審議を待たずに理事長と相談の上 HP に掲載し、特に災害掲示板は早くに立ち上げることができた。

(2) ビデオ配信について

HP へのビデオ配信に関し、閲覧可能との案内が配られたが、震災のため作業が遅れている。HP の入り口を委員会単位とはせず、教育委員会と学術・先進医療とのすりあわせをした上で、今後ビデオの選定とレイアウトを行う予定である。

e. 保険診療委員会（土岐担当理事）

土岐担当理事より、以下の報告があり了承された。

(1) 平成 23 年度社会保険診療報酬に関する改正要望書については、以下内容となった。

新設)

鎮静を要する検査の管理料

処置における小児加算

小児食道ブジー法（内視鏡による）  
先天性食道狭窄症根治術（食道切除）  
鏡視下腫瘍試験切除術  
多発性小腸閉鎖多吻合術  
小腸移植術（生体部分小腸移植術、移植用小腸採取術、同種死体小腸移植術）  
改正）  
小児科療養指導料の算定疾患の拡大（鎖肛、胆道閉鎖症等 10 疾患）  
在宅成分栄養経管栄養法指導管理の栄養剤適応拡大  
胃・食道内 24 時間 pH 測定の増点

(2)平成 23 年度 第 1 回および第 2 回外保連総会につき、議事録資料を基に報告され、今後のスケジュールについて説明された。

f. 教育委員会（橋本担当理事）

橋本担当理事より以下の報告・提案があり、了承された。

- (1) 卒後教育セミナーおよび内視鏡手術セミナーについて  
機関誌第 47 巻 1 号に開催要領を掲載し、同時にHP でも案内を開始した。
- (2) 「小児外科医の散歩道」の単行本化及び小児外科学会 HP への掲載について  
雑誌『小児外科』のリレー・エッセイである「小児外科医の散歩道」を HP に掲載準備を進めている。

g. 悪性腫瘍委員会（前田担当理事）

前田担当理事より、以下の報告があり了承された。

- (1) 第 4 回悪性腫瘍委員会が開催され、地区センター幹事の交代と日程調整された旨、資料に基づき報告された。
- (2) 日本がん治療認定医機構 関連学会連絡委員会が開催され、2010 年度事業報告および 2011 年度事業計画につき、資料に基づき報告された。

h. 学術・先進医療検討委員会（濱田担当理事）

濱田担当理事より報告・提案があり、以下のように了承された。

- (1) 動画配信について  
株式会社マイメドと業務委託契約を取り交わし、準備を進めている。  
また、動画配信について、HP 上での配信場所は一つのところから配信し、アクセス制限により、会員が閲覧できる学術・先進医療検討委員会担当の動画と医学生が閲覧できる教育委員会担当の動画を区別することとする。  
ただし、会員も医学生が閲覧できる教育委員会担当の動画を閲覧できるものとする。
- (2) 動画の検閲について  
動画内容の検閲は、各担当委員会にて行い、医学生が閲覧できる教育委員会担当の動画については、必ず理事会の事前検閲（1 週間の期限）を経て、HP 掲載とする。

なお、会員が閲覧できる学術・先進医療検討委員会担当の動画についても、状況によっては理事会の事前検閲が必要な場合もあるが、基本的には担当委員会にて判断するものとする。

ただし、卒後教育セミナーのDVDは販売しているものであり、それをHPで誰でも見られるようにした場合、購入した人との関係が問題となるため、卒後教育セミナーのDVDは動画配信しない。※DVD販売をしないのであれば、動画配信できる可能性もある。

また、内視鏡手術セミナーについては、スライドを掲載することは問題ないが、動画については基本的に各講師が自己責任において集めたものを対象とし、技術審査用のDVDは不可とする。

(2) 平成22年度分について厚生労働科研も同時にアンケート調査を行い、102施設に郵送し、3月31日現在96施設から回答を得た。回収率94.1%であった。内容は近日中に回覧審議の予定である。

(3) 会員対象のアンケート調査依頼の審査ならびに認可

①「手術部位感染予防対策」に関するアンケート調査の依頼が三重大の内田恵一先生より3月10日付であり、3月25日に承認した。

②黒田達夫先生の厚労科研『新生児および乳幼児肝血管腫に対する新規治療の実態把握ならびに治療ガイドライン作成の研究』についての調査結果を2月10日にホームページに掲載した。

(4) 先進医療の情報収集および会員への情報提供

研究プロジェクトの現状

・『小腸移植、intestinal failure』

3月12日の日本小腸移植研究会において、本件のアンケート調査などは日本小腸移植研究会が主導で20万円の予算を計上しておこなうことが決定されたので、これに沿って活動をしていく。

・『randomized controlled study(RCT)』

小児悪性腫瘍に関するRCT論文9本について要約を作成し、4月7日にホームページに掲載した。

i. 小児救急検討委員会（上野担当理事）

上野担当理事より、第48回日本小児外科学会学術集会併設PALS講習会参加者申込の状況につき、報告があり、申込締切が2011年5月9日までであるが、少し空きがあるため、締切を2011年5月31日まで延長することが提案され、承認された。

j. データベース委員会（前田担当理事）

前田担当理事より以下の報告があり了承された。

(1) NCDとの連携で、専門医制度への対応の枠組みを2011年3月末までに決定し、現在調整中である。

(2) NCD運営委員会・専門医制度委員会合同委員会につき、議事録資料を基に、NCDにおける症例登録の状況、各診療科に対する調査、利用者管理ウェブサイトの開設、専

門医制度との連携について、利用者入力フォーマットの改訂、新規プロジェクト要望について報告された。

5) 会員情報管理システムについて（小室庶務委員長、NTT-PC）

NTT-PC 副島氏より、資料に基づき、会員情報管理統合システム作成に伴う費用見積の説明がなされ、NTT-PCに発注することが承認された。

なお、今後システム仕様を確定すべく各担当委員会と具体的な部分を詰め、その上で費用については財務会計委員会長にて費用確定を進めることとなった。

6) 名誉会員・特別会員の推戴について

審議の結果、以下の先生方を本年度推戴候補者として評議員会に諮ることとなった。

名誉会員推戴候補者：伊川廣道 先生、金子道夫 先生、岩井直躬 先生、森川康英 先生  
高松英夫 先生、嵩原裕夫 先生

特別会員推戴候補者：蛇口達造 先生

以上

理事長 \_\_\_\_\_

理 事 \_\_\_\_\_

理 事 \_\_\_\_\_